

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

決算相場後は株価の上値余地がポイントに!!



今週で前12月期決算、3月期決算企業の第3四半期業績開示もピークを迎えた。決算相場に適した分析重視の決算先回りスタンスや開示直後の反応に着目するスピード勝負のデयरリングが賑わっている。

前回コラム「水準訂正で迎える決算シーズンのポイントとは？」として、決算銘柄における投資戦略をまとめた「決算相場の急騰株を探せ!」のレポート販売を紹介。提供銘柄のなかからシナジーマーケティング(3859)が配信翌営業日始値から10%の上昇率を記録し、早期の目標株価達成を果たすなど、購読者からは市況分析、銘柄アプローチを高く評価していた。

ただ、株価の急変動を誘う決算発表も来週には開示も二巡してくるだけに、新たな投資テーマ到来も意識されるところ。これまでの決算シーズン後は業績開示によって実態評価が修正されることで、素直に「業績の良いものが買われ、悪いものが売られる」という選別物色の展開となりやすいが、昨年後半からの活況相場もあり、今後は企業業績確認後で明らかになる株価の上値余地が意識されるのではないか。

そこで弊社では、決算シーズン後の投資戦略をまとめた「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を発売することにした。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。